

学校経営方針

(1) 教職員の資質・能力向上

「児童のために」を合い言葉に、全職員が使命感と責務を自覚し、和と協働をもって学校経営に参画し、活力ある学校づくりに努める。(風通しのよい職場・協働遂行力・学級経営力)

(2) 創意ある教育課程の実施

児童や地域の実態を踏まえ、教職員の創意と工夫を生かした特色ある教育活動を展開し、教育内容の充実を図る。(学校・家庭・地域との連携、学校評価の結果を重視)

(3) 学習指導の充実

基本施策 1

基礎的・基本的な学習内容を定着させると共に、児童一人一人のよさや可能性を伸長させる。(学業指導、わかる・できる・楽しい授業の展開)

(4) 道徳教育の充実

基本施策 2

道徳の時間を要として全教育活動を通して、教え育てる道徳教育を推進する。(道徳的価値の自覚や自己の生き方についての考えを深める学習)

(5) 体力の向上・健康教育の充実

基本施策 3

体育、保健(健康)、食育を通して、体力の向上や健康を考えて行動できる力を育てる。

(6) 児童指導・特別支援教育の充実

基本施策 2・4

学業指導の充実を図り、学びに向かう集団に高めるとともに、児童一人一人の自己指導能力の育成を目指す。また、一人一人の児童に寄り添い、教師と児童、児童同士の温かい人間関係を育む。(自己存在感・共感的な人間関係・自己の可能性の開発・合理的配慮等)

(7) 地域とともにある学校へ

基本施策 7・13

家庭、地域、関係機関との連携・協力を一層深め、その教育力を活用するとともに、地域とともにある学校作りを推進する。(地域と情報提供・情報交換、交流活動・体験活動の推進)

(8) 危機管理・施設設備の活用

学校環境の整備や施設・設備の充実を図り、学習活動・児童指導への効果的活用を促進する。安心・安全な学校を目指した危機管理を徹底する。(危機管理意識の高揚・児童の危機回避能力)